

沖縄の子に紅葉



赤や黄に色づいた葉で作ったしおりを手にする児童＝23日、山口県防府市



山口から 小学校教材に

温暖な気候の影響で紅葉を見る機会がほとんどない沖縄県の小学生に赤や黄に色づいた葉を送ろうと、山口県防府市の小学生らが23日、カエデの葉などを集めた。「紅葉どんぐり便」として12月上旬に発送し、沖縄の小学校で教材として使われる。

防府市のラジオ局「FM わっしょい」が2007年に始めた。葉はそのまま送ると水分が多く黒ずんでしまうため、1週間ほど新聞紙に包んで乾燥させる。ラジオ局によると、小学校教諭のグループが沖縄の出版社に「教科書で紅葉を見て、色を塗っている」と勘違いする児童もいる。本物を送ってもらえないか」と相談。ラジオ局の関連会社と出版社に取引があり、ラジオを通じて呼び掛けたのがきっかけ。

防府市の小学4年、中村功太郎君(10)は「紅葉がこんなに赤くてきれいなものを知ってほしい」と話した。